震えを覚えていた。 家中に札を貼る。 たちまち眠気が差し、 いつしか怪異は消え失せたが、灯台を仰ぐ俺の耳はその 幾度か溺れかけた。 心配した母は、

小豆洗いという化け物がいる。

籠の中で小石を揺するような繰り返しが浴室を満たす。

湯船に浸かるといつもその音がした。

3 4 日本職という出も対ないる。

見け初芸生コシーツや力がり、踏みら小さな輝を願い去 窓を白いずのな風る。見る間い獺の遠へ流され、下井の窓を白いずのな風る。見る間い獺の遠へ流され、下井の 虽な同える。とんさ掛け国卦字。 かお大申まひでい合而。 悲劇が土がです。

| は来る中に見ってあると下地も布き消えていた。

負棚番十 行势東百

がっている。 見回すが、誰の姿もなかった。井戸の傍に石が幾つか転

「大事ない。水神様がいらっしゃる」 「明日は我が身」

負棚番十 行办鬼百

勝瀬の子掛式るでは。玄事以付き合みちれ式挙向以子典

るというといるといる。

6

縁側を渡るしな俺は呟きを捉える。

の世話とは嫌いなる。 「さ好とくおら」 「怖い、怖い」

なかった。

拍子木の音が家中まで響いてくる。最近、不審火が絶え

かたなく刻い城ってあったホールを下掛と投わ合った。 「まだだよ。 もう少しだけ」 ランつ理

線香の製化票パ、下拠の姿材敷らい汁。

こそこそ岩という化け物がいる。

思言はというといる。

い出していた。

訃報を伝える友人の言葉は遠く、俺は彼女のえくぼを思

蚤の向こでから小ちお湯が近付いていす。

の無極調というとは極いる。

「毒地で、毒地で、84半でも用し」

盲い、対多突い式巻人である。

現世をさまよう

いまだ人という化け物に至れず

百鬼夜行 十番勝負

しる毒地

「なあ知ってたか?」

記憶を探る俺を他所に黒電話が鳴り出す。

煙の重なりに柔らかい影が浮かび上がる。笑っている女

俺は紫煙で輪を拵え、税に入っていた。

百鬼夜行 十番勝負

謝るより越り、音な広りを憲はかる。 羅袖 ご水 作し 書

か、動ね空辰を永めて되難いす。

(T)

き人が背中の琵琶を不らし始めず。

対阜県代多受け取りいかももの代でスロへ手をはけず。 郊水が剛から古を垂らし目形を描いか野灯がった。 しかし、神心向か下がっている。

않 留守なの依主人の政事おない。 神尉 引駐 び 衛 は は 待さくささいと斑が貼られていた。 「

これ

は

」

5 煙々羅という化け物がいる。

12

割い財母な守んずいま。 類の散をはい、 挙払帰限へ向な う。気は、母おかの語をあなまで聞んず、かしいと言下に 「こめとといるら あいた。

負棚番十 行办鬼百

縁側31気にてあると財母の姿は見えない。 「あの婆ちん。今郊沿神汁も」

668

寺田寅彦著「化け物の進化」より

鬼夜行絵巻物である。それをひもといてその怪異に戦慄す 宇宙は永久に怪異に満ちている。あらゆる科学の書物は百 る気持ちがなくなれば、もう科学は死んでしまうのである。 化け物がないと思うのはかえってほんとうの迷信である

http://www.oritoyo.com/

ツキード 皆計

十番勝負

負翻番十 行办患百

本帯の(@kusunokidan)の折本

tumblr: http://donut-st.tumblr.com/

twitter: @donut_no_ana 2015年2月10日改

● 目入道という小や時ないる。

傘は空へと遠ざかっていった。

その果材效致い立っている。当目依題帯以翳はれている。

御お果の薬型を周囲へ唇はが。気が、その割い果お消み

目を致らそうと答める冷本が微値はいしなかった。

引かれ、足は浮き上がった。柄を離した俺は地面に尻餅を 出した雨は弱まる気配もない。 足元に傘が転がっている。渡りに船と開いた途端、腕が

0.排谷 ------ 0.排口

シャッターの下りた店先で俺は煙草を喫んでいた。降り 百鬼夜行 十番勝負

出る

24

(c) 2014 - 2015 F-+ W

http://www.mopstudio.jp/ 使用画像: ヒューマンピクトグラム 2.0 http://pictogram2.com/

1使用フォント : モップスタジオ

11 四 幽霊傘という化け物がいる。